

教科(分野)	発行者	採択理由
国語	光村図書出版	文学, 説明文, 古典など教材のバランスがとれており, 教材選定の幅や大小のさまざまな単元設定や構成など, 資料活用や図書館利用等本校のカリキュラムと関係が図りやすく, 学習活動を充実させやすい。生徒が自身の学習活動を振り返りながら思考の深まりを促すことにつながる工夫もなされている。
書写	光村図書出版	身の回りにおける文字に対する感心を高めやすいように, 生徒自身が考えることを促したり身近な事例や解説が多く掲載され, 「書」としての特性と実生活での使用ということの両面からの構成がなされている。文字や場面に応じた書き方の理解を深めることが出来る。国語教材との関わりが意識されており教科内の連携がはかれるようになっている。
社会(地理的分野)	東京書籍	興味深い単元の導入教材を提示し, 「単元の探究課題」, 「探究のステップ」, 「本時の学習課題」の3段階の問いで課題解決を目指していく構成が, 生徒の主体性や問題解決能力を高めることに有効である。また, 持続可能な社会の実現に向けた現代的な課題を多く扱うなど, 本校で重視する批判的思考力の育成, 概念的知識の獲得を目指す授業を実践するために適している。
社会(歴史的分野)	帝国書院	各時代を大観するための構成が明確で, 単元を貫く問いも構造化されているため, それぞれの問いの答えを思考していくことで課題解決的な学習ができる。また, 2つの時代の比較や, 歴史的事象に対する異なる解釈の資料が用意されていて, 多面的・多角的な見方・考え方を働かせることができる。そのため, 各時代の概念的な特色を把握しやすい。
社会(公民的分野)	教育出版	生徒にとって関心の高い身近な導入教材が豊富に用意され, 主体的な課題解決学習が行えるように構成されている。また, SDGsに関する記述が充実するなど, 教科書本文や各資料から「持続可能な未来」を意識した, 深く考える学習を進めることが可能である。さらに, 資料を丁寧に読み解きながら考察する学習を重視しているため, 論理的思考力, 批判的思考力の育成を目指す本校の授業に適している。
地図	帝国書院	判型が拡大されたことで, 地図が大きく見やすく, 広域なつながりを確認できるようになった。また, 思考力育成やイメージ化のための鳥瞰図, 他地域との比較を容易にできる主題図等が多く, 資料活用能力や批判的思考力を高める主体的な学習が行いやすい。
数学	教育出版	基本となる知識や技能の定着を図るような問題も十分扱われている。1年生の導入として最初の章で整数を扱い, 小学校での倍数や約数についての学習を振り返りながら, 中学校の学習へとスムーズにつなげるような工夫もある。内容についての記述も丁寧であり, 既習事項のふり返しについても, 多くの箇所記述がみられ, 生徒が読みこなし学習できる。発展的な内容についても十分に扱われており, 学習のプロセスを設計し, 数学的活動のプロセスを意識して学習できるなど創造性を培うのに適している等, 本校の学習に適している。
理科	大日本図書	それぞれの単元で, 「課題を見いだす場面」「実験計画を立案する場面」「課題を探究する場面」「学習をふり返る場面」という探究の流れが示されていることで, 生徒が探究の流れに沿って学習しやすい工夫がされている。探求活動についても事例が多く記載されており, 探求活動を数多く実践する本校の学習に合っている。
音楽(一般)	教育芸術社	年間指導計画の中で重点を置きたい項目についての内容や教材が適切である。写真資料の選定, 解説文の難易度, 資料と文章の配置や配分, 楽譜の抜き出し方が本校の指導において適切である。特に学習指導要領で指定されている歌唱曲では, 楽譜だけでなく関連資料や写真, 解説等が活用しやすい。
音楽(楽器合奏)	教育芸術社	既存のリコーダー・ギター・和楽器の他に, 打楽器について写真と文章で奏法が詳しく説明されている。授業において, 掲載された打楽器を使用することがあるため, ふりかえりにも有効に活用できる。
美術	光村図書出版	標準的な中学生の目線に立って生徒作品, 作家共に図版が適切で使いやすく, 偏りが少ない。作家と生徒作品の図版のバランスもよく配分されている。授業題材が本校の授業内容に近いものになっていて, ワークシート形式になっている箇所も本校の題材と一致して使いやすい。
保健体育	大修館書店	多様な導入活動を提示することで, 生徒の思考や気づきを促す工夫がされている。学習のまとめにおいても, 問題解決力や情報活用能力等, 多様な見方・考え方を刺激し, 思考・判断・表現力を深める手立てがなされている。資料や解説等も分かりやすく, 生徒の興味・関心を引くものとなっている。SDGsといった生徒に考えさせたい内容について, 口絵を載せていることで授業で触れやすく, 授業づくりをする上で手がかりとなる内容となっている。
技術・家庭(技術分野)	開隆堂出版	インクルーシブの観点から誰が見ても分かりやすく, 頁内の情報量にも配慮がなされている。そのため, 基礎・基本学習をはじめとした, 技術の見方・考え方とは何かが捉えやすく実用的である。また, 問題解決の工夫を阻害しない程度の内容にとどめており, 生徒のロマン溢れる問題解決が期待できる。今後の多様化する社会に応じた技術の学習に適した内容である。
技術・家庭(家庭分野)	開隆堂出版	QRコードもあり, 図やイラストなど分かりやすくスッキリまとまっている。学んだことを生活に生かせるような工夫や深く考えさせる問いも多く, 今, 求められている家庭分野の学習のねらいを実現するうえで有用な内容が多い。知識を得る楽しさがありながらも, 生徒自ら考え, 主体的に自分の生活をよりよくしていくとする意欲が引き出されることが期待される構成になっている。
英語	三省堂	生徒が触れる題材内容が充実しており, その内容を表現する教科書本文としての英文が生徒の言語学習をしていく上で適切な構成, 分量である。また英文に親しむ, 活用するそれぞれのセクション構成が言語学習を深める, 言語を習得するための展開として適切であると考えられる。指導を検討・実施する上では, 生徒の能力に応じた創意工夫を取り入れることができ, より発展的な学習に取り組ませることにつながる。
道徳	学研教育みらい	生徒が教材から主体的に問題意識を持ち, テーマを考えられるような工夫が見られる。教材も長く研究・評価されてきたものから新しいものまでバランス良く配置されている。様々な「現代的課題」へ取り組むための教材も充実している。

教科(分野)	発行者	採択理由
国語	教育出版	全体として丁寧な説明で、文学教材、説明文教材ともに数が十分である。論語が2年で訓点の説明がしやすく、漢詩が3年なので、「おくのほそ道」との関連をさせやすい。
書写	教育出版	中学生が用いる教科書として、最もバランスがよく、かつ偏りがいない内容である。中学国語科の教科書教材との関連を図った教材設定、他教科での学びとの繋がりや横断的な学び・気づきの拡がりを企図させる資料の配置、高校での芸術科書道との関連も含めた発展的学習のための教材や資料の提示といった、様々な学習を実践していく上で、効果的な使用を想定することができると考えられる。
社会(地理的分野)	帝国書院	地理の教科書については、さほど差がないように思われた。特徴的なのは、SDGsの観点から考察するような問い(学習課題)の設定をしているものがほとんどであったことである。教科書会社によっては、小学校での学びとの繋がりを考える視点を留意し、中学生(特に1年生)の学習への関心や意欲を喚起する工夫が見られる。最終的に帝国書院の教科書が、分析項目で設定したいずれの項目においても他社のものと比べて優れていると判断した。
社会(歴史的分野)	東京書籍	歴史については、史資料の量や質がいずれの教科書会社においても充実しているが、史資料の見やすさ(1ページあたりの史資料の配分)などについては教科書会社によって異なっている。そのため、他分野と比べて生徒のみならず教師にとっての扱いやすさにもやや影響があることが考えられる。総合的にみて東京書籍の教科書は全体的にバランスがよく、生徒、教師共に扱いやすいのではないかと判断した。
社会(公民的分野)	教育出版	公民の学習内容については、いずれの教科書会社においても十分であると判断した。生徒および教師にとっての扱いやすさについては、生徒の細かな実態によって異なることも想定されるが、教師については概ね使いやすいものが揃っている。最終的に教育出版社の教科書が全体的に良好であると判断した。
地図	帝国書院	2つの教科書会社とも図式の色彩や文字のフォントなどで見やすい工夫がなされている。どちらが良いかは甲乙付け難いが、色彩が豊かなだけでなく色使いによる見やすさも勘案したところ、帝国書院の方が生徒、教員ともにみやすく扱いやすいのではないかと判断した。
数学	東京書籍	教材の構成と配列、導入問題の工夫、図や資料の豊富さ等の観点で評価を行い、左記の結果となった。教科書選定にあたっては、「教材の内容と配列」と「導入問題の工夫」を重視した。この2項目以外に「図や資料の豊富さ」、「発展的内容の充実」、「UDへの配慮」、「デジタルコンテンツの充実」などの結果を加味した総合得点を踏まえても、重視した2点の結果と変わらなかった。
理科	大日本図書	学校図書と大日本図書は、課題探求のためのプロセスやその考えなどが丁寧に解説されていたり、授業で活用しやすい資料が扱われていたりする。単元ごとの学習の順序性については、大日本図書がスムーズなつながりで作成されている印象をうけた。
音楽(一般)	教育芸術社	教育出版は、音楽史の年代ごとや、西洋音楽と日本音楽の違いについて考察をさせるための「情報」が盛りだくさんで掲載されており、非常に魅力的であったが、これらはプリント資料の作成・配付等で教員から生徒への補充・投げかけが可能と判断し、今回は本校での音楽活動で、掲載楽曲、創作・アレンジ活動面において、本校での授業で生かせるページが前回よりも増えた教育芸術社を採用した。
音楽(楽器合奏)	教育芸術社	本校での「アレンジ活動を重視した器楽活動のニーズに適した」教科書と言った観点で、分析を行った。教育出版は、リコーダーも箏も中学生にとって挑戦がいのあるような、比較的ハイレベルな技術を要する楽曲が充実してはいたものの、本校の上記ニーズと言った観点では、教育芸術社の方が適している面が多いと判断した。
美術	日本文教出版	全体的に改訂以前の内容と比べ、資料数も増え解説の丁寧さや道德教育を一層に意識した投げかけがされている。内容がより丁寧に記載されている傾向がある一方で、学校で行われているカリキュラム内容との関連とともに、授業の活動展開を妨げない内容記載の密度を選ぶ必要があると考え、日本文教出版を採用した。
保健体育	大修館書店	4社ともQRコードを掲載し、インターネットで映像資料や発展的内容を手軽に利用できるようになっていたが、特に大修館と東京書籍には出典一覧があるので、生徒も教員も元の資料の確認や、それに紐づく検索に役立つ。また、カラー印刷部分について、人体解剖図と比較すると、大修館と大日本図書は淡色で配色され、ソフトな印象で好感が持てた。大修館は、部分的に細かい文字が使用されているが、その分、資料が多く表記も丁寧でわかりやすさを感じた。
技術・家庭(技術分野)	開隆堂	生徒の創造性を育む授業を想定し選定を行った。教育図書は設計計画書がついており、また分冊化することで、道具の使い方も丁寧に説明されていた。東京書籍は設計のステップだけでなく、具体的な実現手段が提示されている点も他社と異なった。①構造力学を理解する製作題材を示していること、②プログラムの構造を表現するために、フローチャートも取り上げていること、③提示された題材が、キット教材ではなく、身近な素材・材料で作成可能なことの3点から、開隆堂が適当と判断した。
技術・家庭(家庭分野)	開隆堂	東京書籍は、写真やレイアウトが見やすく工夫されているが、開隆堂は資料が多く、スペースに多くの表の記載があり、深い学びを追求する上で有意義と考えた。
英語	三省堂	文学から社会問題、日常会話と多様性に富んでいるのに加え、日本文化を紹介する内容が特に充実している。プロジェクトもスピーチ、プレゼンテーション、ディスカッションと他社に比べてバリエーションが多い。またAIを導入した自主学習に優れた補助教材の開発を進めているなど、本校や現在の状況に最も適している。
道德	東京書籍	7項目(①学習指導要領の内容の押さえ方、②本校生徒の実態、③分量、④文字・文章の表記、⑤写真・挿絵・図表・グラフ等の表記・表現、⑥学びの全体が見通せる構成、⑦授業で使用しやすいような編集上の工夫)で分析を行った結果、総合評価が最も高かった。特に東京書籍はいくつかのアプローチで学びの流れが見えるページを設けており、見直しをもって学びやすくなっている。

教科(分野)	発行者	採択理由
国語	三省堂	令和二年度まで採択していた学校図書が今回の採択になかったため、四社の教科書から比較検討した。教材のバランスが良く、比較的学校の教科書と通じる点が多く、授業者にとって使いやすいことが予想された。教材数も多く、指導計画を立てる際にも柔軟に対応できることが採択の理由としては大きい。
書写	教育出版	ページ構成が見やすく、手本の文字が見やすく配置されていることが理由である。また、継続しての採択であることから、指導者側の教材研究が深まっているため、指導計画が立てやすい。
社会 (地理的分野)	教育出版	世界の諸地域では、各地域ごとにテーマを絞りながらも、他の視点からでも発展的に取り上げることができる材料が多数示されている。章末コラムは多彩な視点で書かれたものが多い。日本の諸地域でも、地方ごとに取り上げる項目が自然な順序で展開できるように配置されている。
社会 (歴史的分野)	帝国書院	各時代ごとにとびらに、当時の人々の生活の様子が分かる想像図があり、その時代の生活の特色を考える手がかりとして有効である。各項目ごとに示された絵画資料や写真は、生徒が興味を持ちやすいものをそろえ、授業で使いやすいように工夫されているものが多い。近現代の各項目の資料やコラムが充実していて、生徒の関心を高め、授業展開の幅を広げやすい。
社会 (公民的分野)	東京書籍	現代社会の見方・考え方を働かせる授業づくりのために生徒が考えやすい事例を示している。憲法分野で、社会問題と関連づけながら人権意識を育てる授業展開を工夫しやすい構成になっている。政治・経済分野の抽象概念の理解と具体例を通して学習するような見出しが立てやすい構成になっている。国際分野の多様な視点や地歴との融合させる総合的な視点や課題に生徒が取り組みやすい構成になっている。
地図	東京書籍	目に優しい色使いで、地名探しなど調べる作業で長く見続けることに耐えうる。同じ地域に様々な縮尺の地図を用意していて、多様な使い方が可能である。判型を大きくしたことで、地方別のテーマ資料も充実し、活用の幅が広い。
数学	大日本図書	当該教科書は、見開き1ページで1時間の授業を想定した構成になっており、授業計画をつくる上で目安になるとともに、教育実習生の指導にも活用しやすい。数学的な説明が丁寧にかつ詳細にされており、平均的に学力が高い本校の生徒の実態から見て適切であると判断した。
理科	教育出版	主体的・対話的で深い学びを実現できるような、無理のない探究学習の進め方がわかりやすく示されている。また、教科の本質的な学びに迫るために適切な教材が、適切な順序で配列されている。
音楽 (一般)	教育出版	楽典についての記述が豊富で、かつ、色どりが豊かにまとめられており、生徒に対して、指導すべき音楽の記号や要素を、視覚的にも明確に提示することができる。楽譜の背景に、楽曲の内容に関連した風景や人物の写真が大きく掲載されており、生徒が楽曲のイメージを膨らませやすい。
音楽 (楽器合奏)	教育芸術社	箏の記述において、西洋式の五線譜と同時に、我が国伝統の家庭式縦譜も掲載されており、生徒に教材を提示する際に、使いやすい。アンサンブルのための教材として、ポップスや映画音楽等が豊富に掲載されており、器楽が苦手な生徒にとっても親しみやすい。
美術	日本文教出版	生徒作品の図版が多く使用されており、内容も豊富であるため、生徒の興味や関心を高めることができるように考慮されている。また、表現及び鑑賞活動に必要な造形的な視点が示されており、生徒が主体的に活動しやすい内容にもなっている。上記の特徴や本校の学習指導の展開等を総合的に検討し、授業で使用することが適切であると判断した。
保健体育	大修館	写真やグラフなどの視覚資料が豊富かつ、系統だって掲載されており、限られた時数の中で質の高い学習ができると判断した。また、デジタルコンテンツも豊富で分かりやすいものが多く、教材として最適である。
技術・家庭 (技術分野)	教育図書	限られた時数で指導する中、題材や実例が豊富で、写真を数多く掲載している点がとてもわかりやすい。一部適切ではない写真があるが、学んだ技術を総合的に生かすE編があるなど、全体的にみて優れた構成であり、中学校卒業後も、ものづくりの参考書として用いることができると考えられる。従って授業で使用するのに最適であると判断した。
技術・家庭(家庭分野)	教育図書	図解がわかりやすく資料が充実している。基本的な内容については、生徒が興味を持ちやすい題材を取り上げ、生徒同士で意見を出し合ったり、協力したり、かかわりを持ちながら学習できるよう工夫されている。学んだ知識・技能を生かし課題解決に至る流れが示されており、生徒自ら工夫して取り組みやすくなっている。
英語	東京書籍	各単元の活動の目標が明確であり、また日常生活で使う場面と関連づけて指導ができるような構成となっている。3年間を通じて、「聴く」「読む」の受動的活動から「話す」「書く」の発信的活動へ発展させて指導できる教材や活動が設定されている。小学校との接続期の内容が充実し、音声から文字指導については勿論のこと、小学校での既習表現を活かして中学での学習を積み上げられる構成である。
道徳	学研教育みらい	判型が大きく、紙面がゆったりして読みやすい。教材ごとの文章量が適切で、1時間の授業時間の中で扱いやすい。多くの教材が他教科との関連も意識して選ばれている。また、各教材ごとに様々な図版や特ページが用意されていて、事実を元に内容を深める工夫がされている。教材ごとの問いの立て方がシンプルで、授業者が多様な問いを工夫しやすい。

教科（分野）	発行者	採択理由
国語	三省堂	教材が豊富で、多様なものの捉え方や視点を身に付けさせることのできる点が、IBMYPの趣旨と合致する。また、各言語領域の系統性も示されており、バランス良く言語能力を養うことができる。他教科との連携を意識した教材を導入している点も良い。
書写	教育出版	写真が豊富であり、かつ日常生活とのつながりが意識される構成となっているため、生徒の学習意欲を喚起することができる。また、「基本点画」や「筆圧」、「穂先の動き」などの基礎基本の定着はもちろん、生徒が主体的に考えを深められるような問いかけがなされており、受け身にならない学習が期待できる。
社会（地理的分野）	帝国書院	地理的な見方・考え方を培うにあたり、帰国生の多い本校にあつては、写真・地図・グラフ・読み物等の資料が充実していることが必須である。また、発展学習を行うにあつての基本となる「統計資料の使い方」「写真の読み取り方」「主題図の読み取り方」等の技能を磨くコーナーも充実している。
社会（歴史的分野）	学び舎	日本語習得に苦労している帰国生にとって、ルビが多く図版も大きくとってあること、また、敢えて太ゴシックを排し、歴史の流れ・全体像をつかませる点においても馴染みやすいづくりとなっている。蝦夷錦と昆布の取引ルート、雨森芳洲・大黒屋光太夫等、世界とのつながりを大いに意識し、事象の背景や関連を考える編集となっている。
社会（公民的分野）	教育出版	東日本大震災から得た「学び」を通して、持続可能な社会の構築へ繋げていこうというESDの視点を強く意識したづくりとなっている。新聞の活用法に始まり、アクティブラーニングを意識したディベート・シミュレーション・ポスターセッション等を特設し身近な話題からの授業改革を提案する編集となっている。
地図	帝国書院	「社会科の辞書」ともいえる地図帳に期待されることは、資料の豊富さはもちろんのこと生徒の興味関心に応える地図の見せ方である。例えば、中国・ヨーロッパ・アメリカのイラストを用いた鳥瞰図や、富士山に代表される衛星画像、大阪・名古屋・東京の三大都市圏の詳細地図等に見せ方の工夫がみられる。
数学	東京書籍	総じて「数学的に考える」ことが最も大切にされている。特に、本校数学科で大切にしている、具体的事象の考察を通して概念の獲得を促すという姿勢が最も感じられる教科書である。また、学び合いのページは他の教科書にはない特徴で、生徒が協働的に学習を行えるような工夫がされていたり、テクノロジーの活用を積極的に促したりする工夫に優れている。
理科	大日本図書	3か年で「問題を見つける」、「計画を立てる」、「結果から考える」、「振り返る」ことを各学年で重点を変えながら学習し、身に付けることができる。IB校である本校にも、合致するものである。また、職業との関連も掲載されており、学校での理科の学びと社会がつながることで、探究の過程を身に付けるだけではなく、より広く科学についての理解を深めることもできる。
音楽（一般）	教育芸術社	教科書のサイズが大きいため掲載されている楽譜や図表が見やすい。特に、鑑賞のページは中学生にとってわかりやすく、興味関心を惹くものとなっている。日本語以外の言語の曲も掲載されており、本校の国際的なテーマの学習につなげやすい。
音楽（器楽合奏）	教育芸術社	ディズニーやジブリの作品など、中学生の興味関心を惹く曲が掲載されており、楽譜も色使いなどが良い。奏者の写真や奏法の解説が載っており、大変わかりやすい。
美術	開隆堂	充実した鑑賞の題材、美術と地域・社会のかかわりを感じる題材、コミュニケーションを意識した題材、自己の向上を実感できる題材が多く、本校が導入しているIBMYPにおいて美術で特に扱うことになっている概念（美しさ、変化、コミュニケーション、アイデンティティ）とよく重なっている。
保健体育	学研	学習内容ごとに課題が明記されており、中学生の生活に即した話題とつながりやすく、気づきを促すものが多い。また、図表や例が中学生に対してわかりやすく適切であるものが多い。以上のことから、中学生の学習内容をより深めることができる。
技術・家庭（技術分野）	東京書籍	本校がIBMYPを導入しており、技術科が位置付けられているDesignでは、学習にデザインサイクルを取り入れることが必須となる。問題を定義し設計仕様を提示、仕様に見合う設計を提案・説明した後、計画を立て製作し、問題が解決されているか評価する、といったデザインサイクルの流れに対し、最も近いプロセスを教科書中で明示している。
技術・家庭（家庭分野）	開隆堂	図表やその説明文が中学生に対して適切であるものが多い。大人にとっては身近なものの写真でも、中学生には馴染みの薄いものや中学生が漠然と実物を見ただけでは気づきにくいことに説明文があることで気づきを促すものが多い。以上のことから、中学生が自立した生活をめざしていく上で、身近なものからの気づきによって学習内容をより深めることができる教科書であると判断した。
英語	東京書籍	主な理由は2つ。1つ目は、トピックの豊富さと、他教科との関連性である。本校では2年時に世界遺産でCoreクラスとAdvancedクラスが連携したり、道徳や国際教養の授業においてキャリアについてやユニバーサルデザインを扱う流れがある。3年生でもSDGsを深められるようなトピックが多いため、社会・世界とのつながりを意識出来る。教科書を活用しながらオーセンティックな内容で英語を活用し、MYPとして国際的視野を育てる。2つ目は、プレゼンテーションやパンフレット、様々な形でのアウトプットのセクションが豊富だからである。生徒の発想を生かしたプロジェクト学習も行いやすい単元設定・配置になっている。インプットはもちろんだが、多様なアウトプットが評価に含まれるMYPとしては、コミュニケーション活動を意識した授業設計がしやすい方が良い。これらの点を総合的に考慮し、本教材は適切なものである。
道徳	日本文教出版	いじめ問題について毎学年いろいろな視点で扱っており、ぜひ生徒に考えてもらいたいと思える内容が提供されている。また、現代的な課題についても多く触れられており、目指す生徒像の一つとして現代的な問題を読み解く力を持った生徒の育成を掲げている本校の方向性に即した内容となっている。さらにコラムも充実しており、読み物としても大変興味深い構成となっている。